

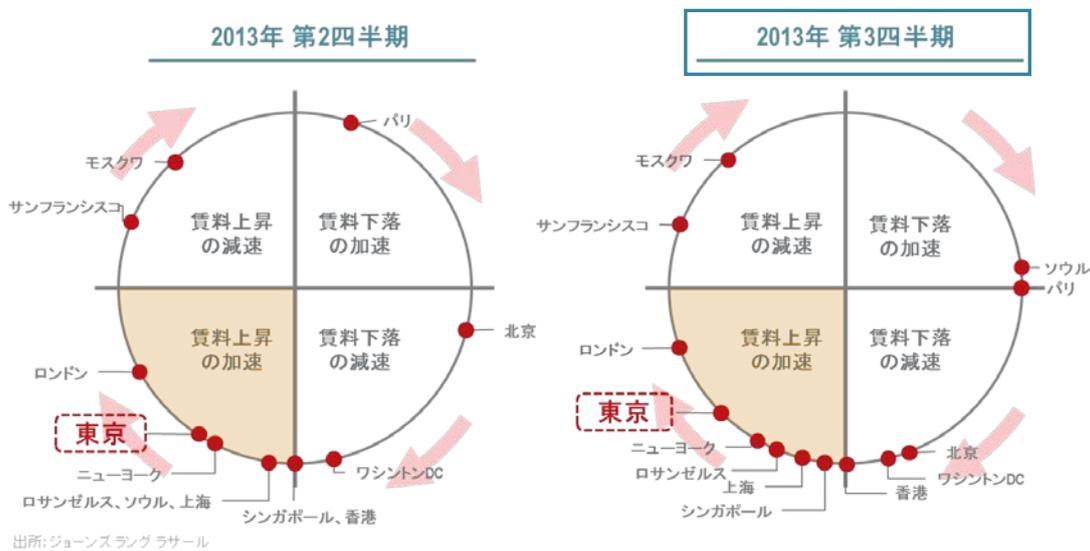
2013年 11月 12日

報道各位

ジョーンズ ラング ラサール株式会社

東京のAグレードオフィス賃料 6四半期連続で「上昇加速」を維持

プロパティクロック（不動産時計）2013年第3四半期



総合不動産サービス大手のジョーンズ ラング ラサール(本社: イリノイ州シカゴ、社長兼最高経営責任者 コリン・ダイアー NYSE: JLL)は、世界主要都市のオフィス賃料の動向を示す独自の分析ツール「プロパティクロック(不動産時計)2013年第3四半期」を発表しました。東京のAグレードオフィス賃料は、緩やかながらも底堅く上昇し、6四半期連続で「上昇加速」フェーズを維持、賃料上昇の加速度が増えています。

JLLリサーチ事業部長の赤城威志は次のように述べています。

「東京市場におけるAグレードオフィスの賃料は緩やかながらも継続的に上昇しています。各種経済指標も良好な数字を示してきており、輸出関連企業を中心に業績改善の動向も報告されています。この動きに呼応した企業マインドの変化が今後の積極的な設備投資を通してオフィス賃貸市場に更なる好影響を及ぼすことが期待され、最新のプロパティクロック(不動産時計)にもこれが表れています。」

“プロパティクロック(不動産時計)”とは？

世界の主要都市の賃料動向を時計に見立てて“見える化”したジョーンズ ラング ラサール独自の市場分析ツールで、四半期ごとに発表しています。

賃料が概ね①賃料下落の加速、②賃料下落の減速(→底入れ)、③賃料上昇の加速、④賃料上昇の減速(→頭打ち)、というサイクルで変動することを前提とし、現在の賃料がそのサイクルのどこに位置するかを表示することで、世界主要都市の賃料サイクルを示しています。

“Aグレードオフィス”とは？

Aグレードオフィスとは、各都市の中心業務地区にあり、面積・建物高さ等一定の水準を満たすグレードの高いオフィスビルを指します。

この件に関する問い合わせ先:

広報担当(エイレックス) 吉岡・石山 電話:03-3560-1289

ジョーンズラングラサールについて

ジョーンズラングラサール(ニューヨーク証券取引所上場:JLL)は、不動産に特化したプロフェッショナルサービス会社です。世界中に存在する専門家チームが、不動産オーナー、テナント、投資家に対し、総合的なサービスを提供しています。2012年度のグループ売上高は約39億ドルにのぼり、全世界70カ国、1,000都市超の顧客に対しサービスを提供しています。当社はプロパティマネジメントサービスならびに企業向けファシリティマネジメントサービスのリーディングカンパニーとして、約2億4,200万㎡(約7,300万坪)の不動産を管理しています。また、2012年の取引額は63億ドルに達しました。ジョーンズラングラサールグループで不動産投資・運用を担当するラサールインベストメント マネジメントは総額467億ドルの資産を運用しています。

ジョーンズラングラサールのアジア太平洋地域での活動は50年以上にわたり、現在14カ国、80事業所で26,700名超のスタッフを擁しています。2013年インターナショナル・プロパティ・アワード・アジア・パシフィックでは3カ国で「最優秀不動産コンサルタント賞」を受賞、また2013年ユーロマネー・リアルエステート・アワードにおいては9つの賞を受賞しました。詳細な情報はホームページをご覧ください。 www.joneslanglasalle.co.jp